

【学 年】 3 年

【教科・単元名など】音楽・鑑賞「何の動物かな？」

【実践内容】

＜鑑賞教材の開発＞

組曲「動物の謝肉祭」より サン・サーンス作曲

- 全部で12曲あるが、この中から「ラバ」「白鳥」「ぞう」「雄鳥と雌鳥」の4曲を抜粋
- 動物の動きや鳴き声が、見事に音楽に表されており、想像しながら聴くだけでも楽しい。
- 音楽的な要素（速さ・音色・リズム等）を気づかせるのにも最適。

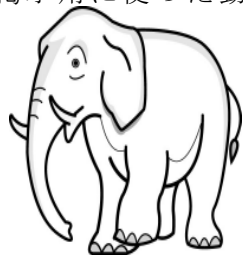
「ラバ」・・・足の速い馬の種類。ピアノで演奏されており、かなり早いテンポで音階を弾いて、走っている様子を表している。

「白鳥」・・・教科書に出ている曲。チェロが白鳥の優雅な感じを表し、伴奏のピアノが湖水の様子を表している。

「ぞう」・・・コントラバスで演奏されており、メロディは、ぞうの力強い感じとゆっくりした動作を表している。

「雌鳥と雄鳥」・・・外国の鶏は“コケコッコー”とは鳴かないのか、鳴き声をとらえるのは少し難しい。鳴き声はバイオリンで表されている。

◎掲示用に使った動物の絵



◎裏面に鑑賞カードがあります

【反 省】

◎クイズということで、子どもたちはとても意欲的に聴きたがった。曲は、30秒から2分くらいまでの短い曲なので、「もう1度聴かせて！」と何回も聴いた。教師側から聴かせるのではなく、子どもたちから聴きたいという思いをもたせるのに効果的だった。最後まで集中して聴くことができた。

▲実際見たり聞いたりしたことがないために、想像しながら聴くのに悩んでしまった子どもがいた。（白鳥と鶏の鳴き声）

▲絵だけでなく、音がない画像、もしくは事前に鳴き声を聞かせておくなどの準備があれば、さらに想像豊かに聴かせることができたかもしれない。